

もくじ

| | |
|-----------------------|----|
| ●安全上のご注意 | 2 |
| ●取付・設置の事前確認 | |
| 設置部位の建築側の仕様確認 | 3 |
| 製品の確認 | 4 |
| 工具の準備 | 5 |
| ●取付・設置手順 | |
| 1. 基準線の墨出し | 5 |
| 2. サイドパネルの取付 | 6 |
| 3. バックパネルの取付 | 8 |
| 4. キッチン本体およびレンジフードの取付 | 15 |
| 5. コーキング | 15 |
| ●仕上げ | |
| 清掃 | 16 |
| 注意ラベルの貼付け | 16 |
| ●点検 | |
| 安全点検 | 16 |
| ●完了後の処置 | |
| 商品の養生について | 16 |
| 取扱説明書の保管・引渡し方法 | 16 |
| ●残材処理 | |
| 梱包材その他残材の処置 | 16 |

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書はキッチンパネルのものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください。正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

注意

- キッチンパネルの取付は、建築壁の構造を確かめて取付・設置説明書通りに確実にを行う。

取付に不備があると、パネルが落下して怪我をするおそれがあります。



- 取付・設置に使用する、接着剤・コーキング材等については、必ず容器などの注意事項をよくお読みになった上で正しく使用してください。

人体への影響が出たり、部材を傷めるおそれがあります。



- キッチンパネルを切断する際は、防塵マスク及びメガネ等を使用する。

粉塵を大量に吸い込むと、人体に影響が出るおそれがあります。



- シーリングをする部分は、確実にを行う。

水漏れ事故や、下地材が腐るおそれがあります。



- 部材を持ち運ぶ際は、必ず滑り止め付きの手袋をする。



- キッチンパネルの設置は地域の火災予防条例及び建築基準法などの関連法規等に従って行う。
また、キッチンパネルと調理機器との間に十分な離隔距離が確保出来ない場合は、炎が直接当たらないよう、防熱板を取付ける。

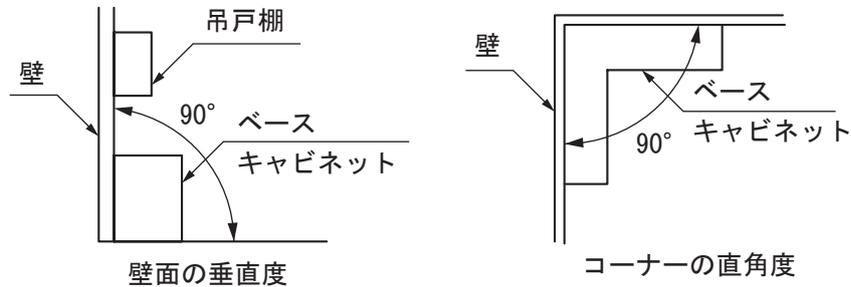
パネルに炎が直接当たって、変色するおそれがあります。



取付・設置の事前確認

1. 設置部位の建築側の仕様確認

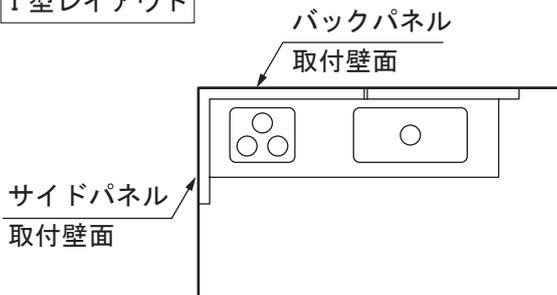
(1) 設置場所（床面・壁面）の水平、垂直、コーナー直角が出ているか、又表面は平滑に仕上がっているか確認してください。



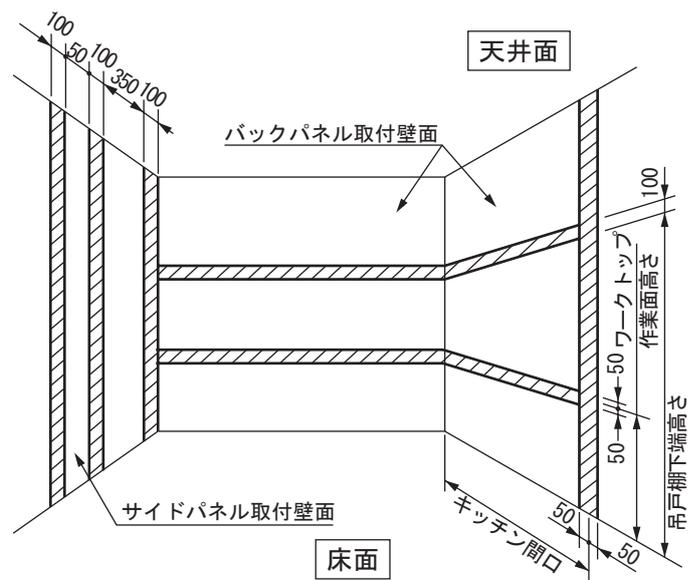
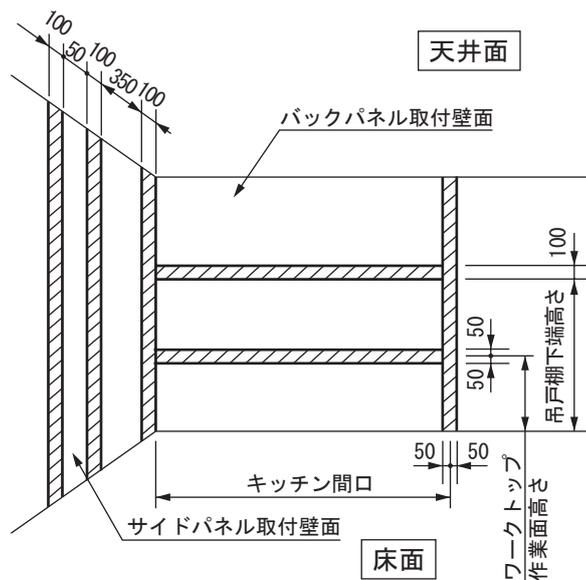
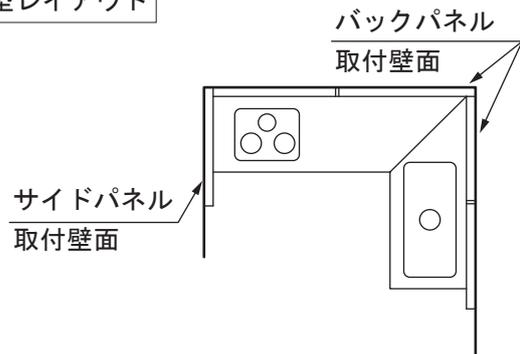
尚、壁面は、必ず t12.5mm の石膏ボードで仕上げて下さい。

(2) 取付機の位置を下図寸法を参考にして確認してください。（下図は、右シンクの場合）

I型レイアウト



L型レイアウト



※ 部は取付機をあらわします。

(3) 吊戸棚、レンジフード用の取付用補強の位置はキッチン付属の取付・設置説明書を参照してください。

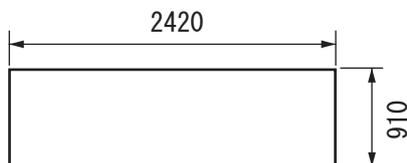
取付・設置の事前確認 (続き)

2. 製品の確認

*印は色記号が入ります。

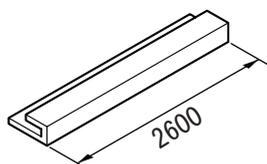
キッチンパネル

- FX-#-3 × 910 × 2420-1 (1枚入り)
- FX-#-3 × 910 × 2420-2 (2枚入り)



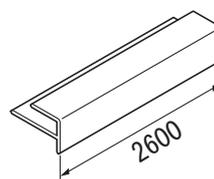
見切材

- KJK-6 (2本入り)
- KJK-6W (ホワイト色2本入り)

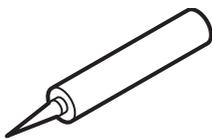
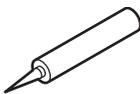
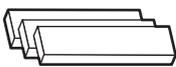


出隅材

- KDJ-6 (1本入り)
- KDJ-6W (ホワイト色1本入り)



工事部材

| | コーキング材 | | | | | |
|----------------|---|---|---|--|---|---|
| |  |  |  |  |  |  |
| | ホワイト色 | 接着剤 | 両面テープ | スペーサー | 取付ネジ | 取付・設置説明書 |
| KKB-7 (2枚用) | 2本 | 2本 | 2本 | 24本 | 60本 | 1部 |
| KKB-8 (1枚用) | 1本 | 1本 | 1本 | 12本 | 30本 | 1部 |

取付・設置の事前確認 (続き)

3. 工具の準備

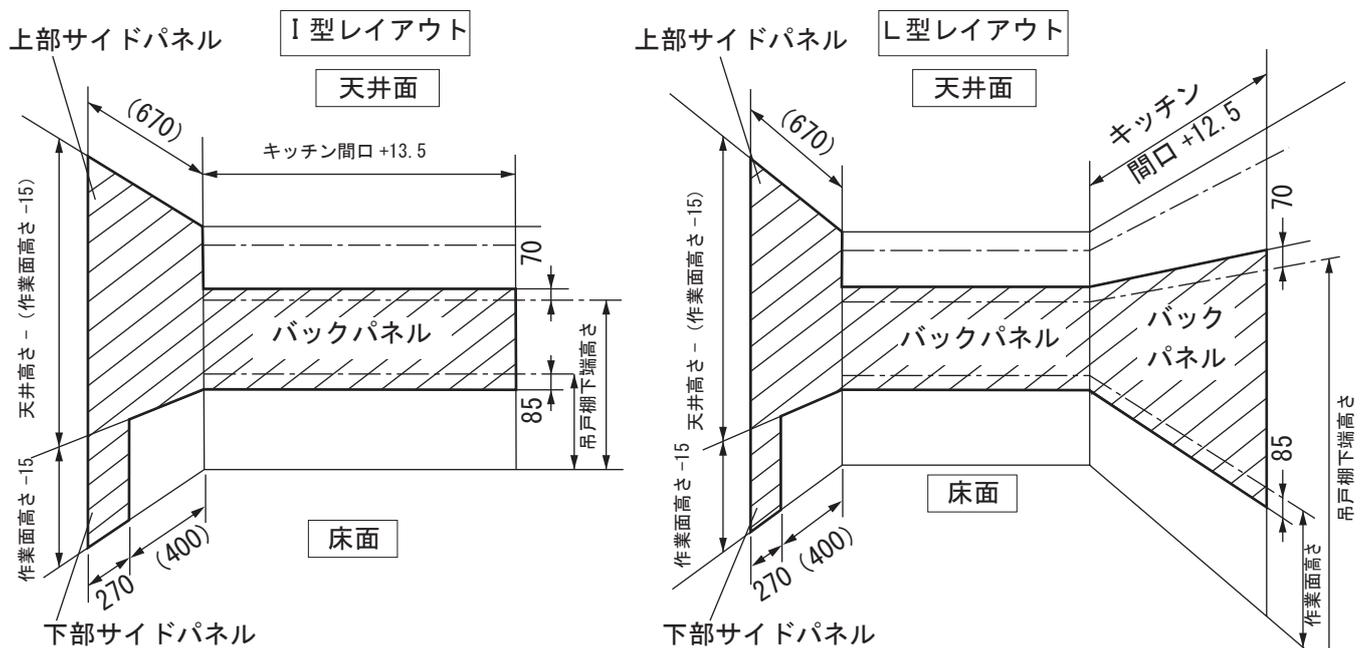
<取付・設置に必要な工具>

- 丸ノコ
- 丸ノコ刃 (超硬チップソー) (パネル材カット時使用)
- 金ノコ
- プラスドライバー
- カートリッジガン
- コーキング用マスキングテープ
- キリ (φ 2、φ 4.5)
- サンドペーパー (# 180 程度)
- 坑木
- クランプ
- 釘 (アルミ見切り材取付用)

取付・設置手順

1. 基準線の墨出し

壁面に下図寸法のように基準線 (太線) を引いてください。



() 寸法は最小寸法となります。

取付・設置手順（続き）

2. サイドパネルの取付

(1) サイドパネル見切り材 (KJK-6 (W)) 取付
けます。

- ① 天井高さに合わせて見切り材を切断してください。
- ② 見切り材裏面の離型紙をはがし、見切り材を図-1のように壁面基準線に合わせて貼り付けてください。
- ③ 見切り材を前面より、指で十分に圧着させ、図-1の□部にキリ(φ2程度)でピッチ200mm程度に穴をあけて、市販品の釘(φ1.6mm程度)で止めてください。釘の頭は見切り材に密着するように打ち込んでください。

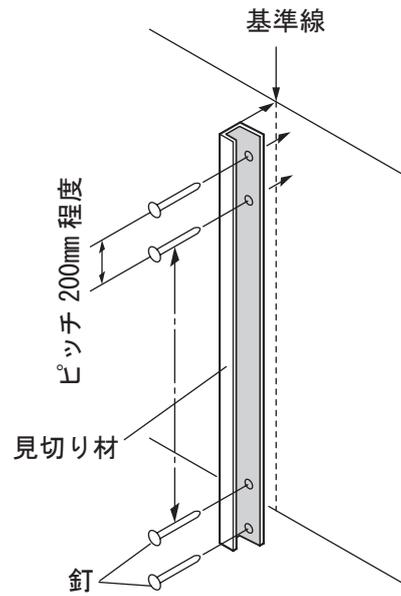


図-1

(2) サイドパネルを取付ます。

- ① 図-2を参考にして、キッチンパネルを上部サイドパネル及び下部サイドパネルを切断してください。(図-3)
化粧面の養生フィルムは、必ず貼ったまま作業してください。
又、切断面はサンドペーパー(#180程度)で角部を糸面取してください。(図-4)

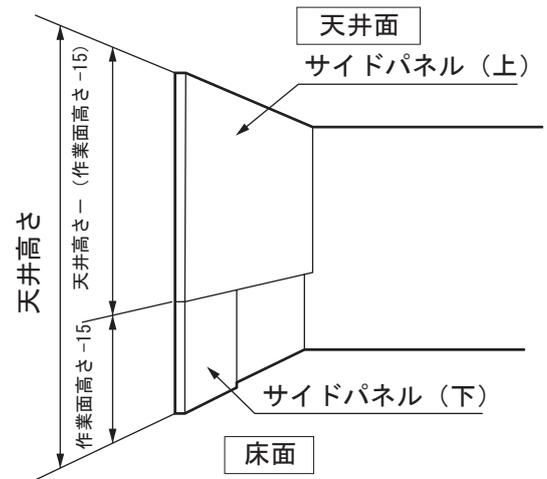


図-2

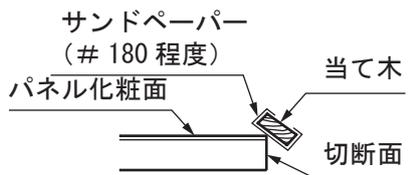
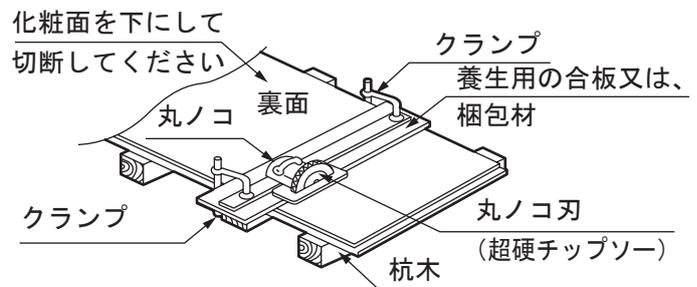


図-4



(注意) 切り始めと切り終わりは、ゆっくり切断してください。化粧面が欠けるおそれがあります。

図-3

取付・設置手順（続き）

- ② 切断した上部サイドパネルと下部サイドパネルを基準線に当てて位置、寸法を確認してください。
- ③ 図-5のようにキャビネットで隠れる部分にキリ（ $\phi 4.5$ ）でネジ穴を開け、化粧面には皿ネジ用ザグリ加工をしサラ頭が出ないようにしてください。
- ④ パネル裏面と壁面の汚れやホコリを取り除いてください。又、下地壁の表面が濡れていると、接着剤がつかないので十分に乾燥させてください。
- ⑤ パネル裏面に図-6のように取付部材（KKB-7（8））同梱の両面テープを貼り、接着剤を塗布してください。接着剤塗布量のめやすとしては、カートリッジ先端塗出径が $\phi 5\text{mm}$ のビード塗りとし、塗布後10分以内に貼ってください。
- ⑥ サイドパネル（下）を、図-7のように見切り材に奥まで差し込み〈1〉、壁面に貼り付け〈2〉、両手で体重をかけて圧着させ〈3〉、工事部材（KKB-7（8））に付属の取付ネジ（皿タッピンネジ $\phi 3.5 \times 35$ ）で固定してください。
- ⑦ 同様にして、サイドパネル（上）も貼り付けます。（図-8）

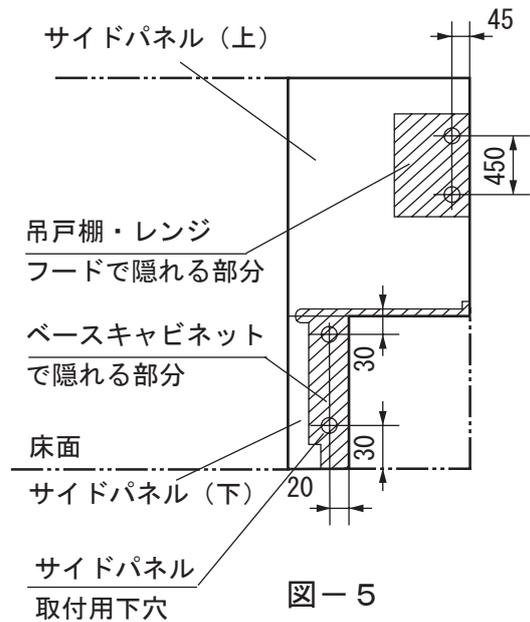


図-5

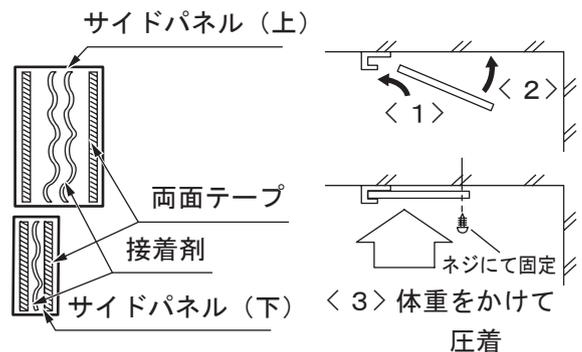


図-6

図-7

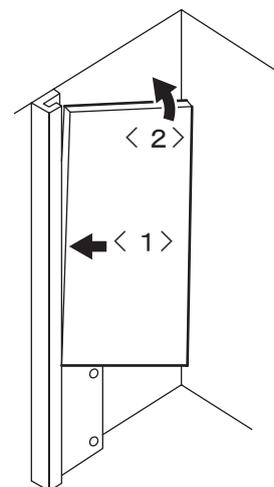


図-8

取付・設置手順（続き）

- ⑤ パネル裏面に図-12のように取付部材（KKB-7（8））同梱の両面テープを貼り、接着剤を塗布してください。接着剤塗布量のめやすとしては、カートリッジ先端塗出径がφ5mmのビード塗りとし、塗布後10分以内に貼ってください。

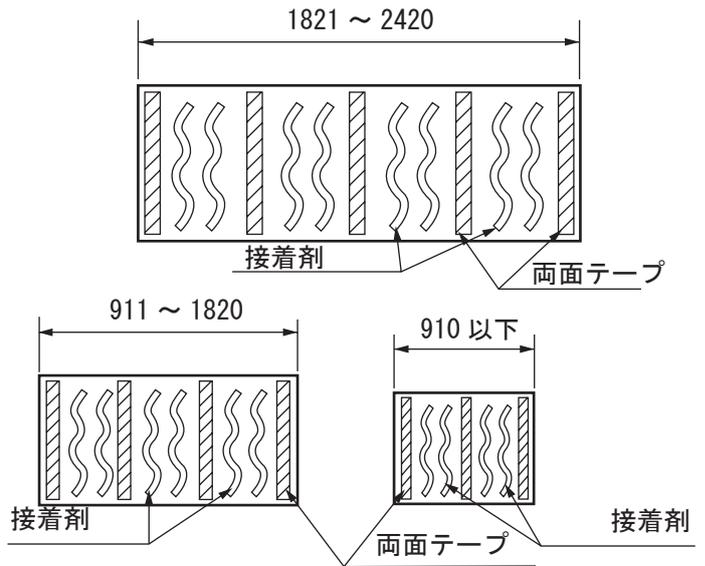


図-12

- ⑥ バックパネルが1枚のときは、図-13の〈1〉→〈2〉の順序で取付けます。バックパネルを見切り材に差し込むようにして基準線に合わせて貼り付け、両手で体重をかけて圧着させ、取付部材（KKB-7（8））付属の取付ネジ（サラタッピンネジφ3.5×35）で固定してください。切断面は、見切り材側に差し込んでください。

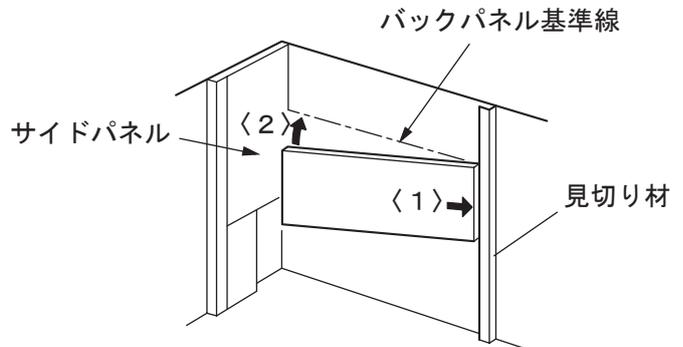


図-13

- ⑦ バックパネルが2枚以上のときは、図-14のようにコーナー側のバックパネルを先に基準線に合わせて貼り付け、両手で体重をかけて圧着させ、取付部材（KKB-7（8））付属の取付ネジ（サラタッピンネジφ3.5×35）で固定してください。

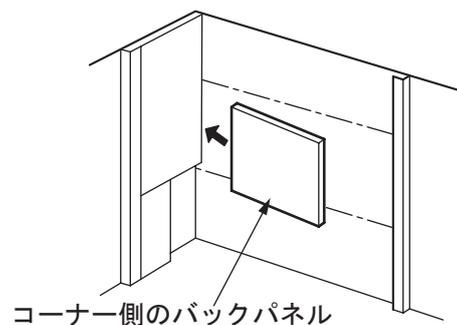


図-14

次に、見切り材側のバックパネルを差し込むようにして、図-15の〈1〉→〈2〉の順序で取付けます。（この時に、パネル同士の間にコーキング用のすき間2mm以上を確保する）基準線に合わせて貼り付け、両手で体重をかけて圧着させ、取付部材（KKB-7（8））付属の取付ネジ（サラタッピンネジφ3.5×35）で固定してください。切断面側は、見切り材側に差し込んでください。

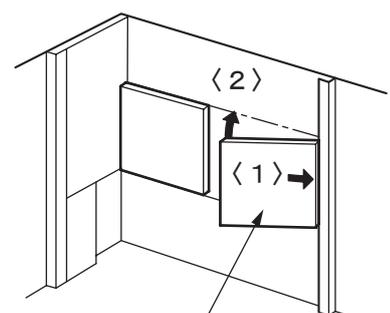
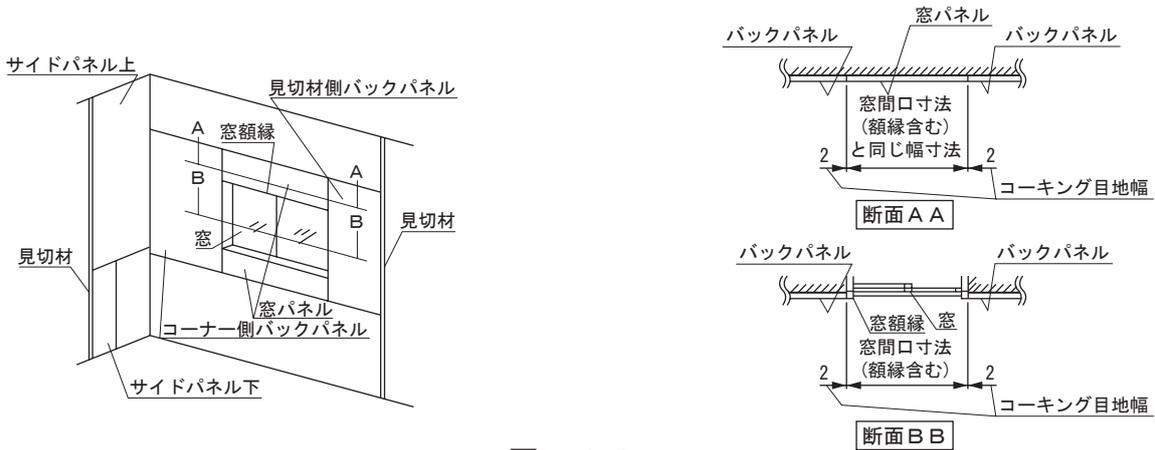


図-15

取付・設置手順（続き）

（４） 窓がある場合のパネルの取付

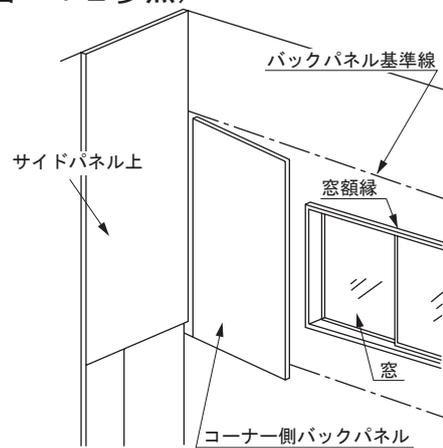
- ① 図－１６の窓がある場合の基本設置寸法（下図）に従って窓パネル寸法を決定し、他のパネルと同様に切断してください。（６ページ図－３参照）パネル同士の間には、継ぎ目コーキング幅（２mm）が必要になります。切断面はサンドペーパー（＃１８０程度）で角部を糸面取りしてください。（６ページ図－４参照）又、切断面は欠ける恐れがありますので、できるだけコーキング突き合わせ部に使用しないでください。



図－１６

- ② 切断したパネルを基準線に当てて位置寸法を確認し、バックパネルと同様にして取付ネジ穴加工（９ページ図－１１参照）を行い、パネル裏面と取付壁面の清掃をし、（下地壁の表面が濡れていると接着剤がつかないので十分に乾燥させてください。）パネル裏面に両面テープを貼り、接着剤を塗布してください。（１０ページ図－１２参照）

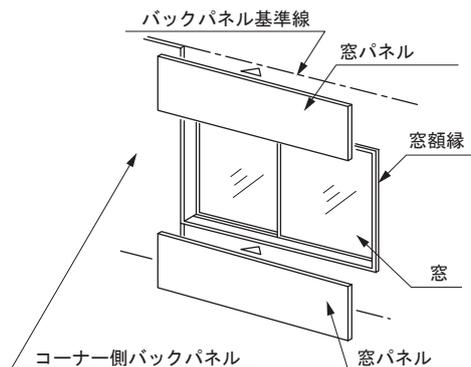
- ③ 図－１７のように、コーナー側バックパネルを先に基準線に合わせて貼り付け両手で体重をかけて圧着させ、取付部材（KKB-7（８））付属の取付ネジ（サラタツピンネジφ３．５×３５）で固定してください。（窓額縁とコーナー側バックパネルとの間にコーキング用のすき間２mm以上を確保する。）



図－１７

- ④ 窓の上下に図－１８のように、窓パネルを基準線に合わせて貼り付け両手で体重をかけて圧着させ、取付部材（KKB-7（８））付属の取付ネジ（サラタツピンネジφ３．５×３５）で固定してください。（窓額縁と窓パネルとの間にコーキング用のすき間２mm以上を確保する。）

図－１８



取付・設置手順（続き）

- ⑤ 見切り材側バックパネルを図-19のように、見切り材に差し込むようにして、基準線に合わせて貼り付け、両手で体重をかけて圧着させ、取付部材（KKB-7（8））付属の取付ネジ（サラタッピンネジφ3.5×35）で固定してください。（窓額縁と見切り材側バックパネルとの間にコーキング用のすき間2mm以上を確保する。）

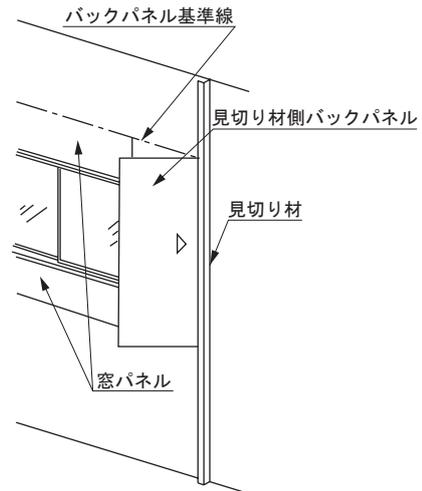


図-19

(5) 出窓がある場合のパネルの取付

- ① 図-20の出窓がある場合の基本設置寸法（下図）に従って各パネル寸法を決定し、他のパネルと同様にして切断してください。（6ページ図-3参照）パネル同士の間には、継ぎ目コーキング幅（2mm）が必要になります。切断面はサンドペーパー（＃180程度）で角部を糸面取りしてください。（6ページ図-4参照）又、切断面は欠ける恐れがありますので、できるだけコーキング突き合わせ部に使用しないでください。

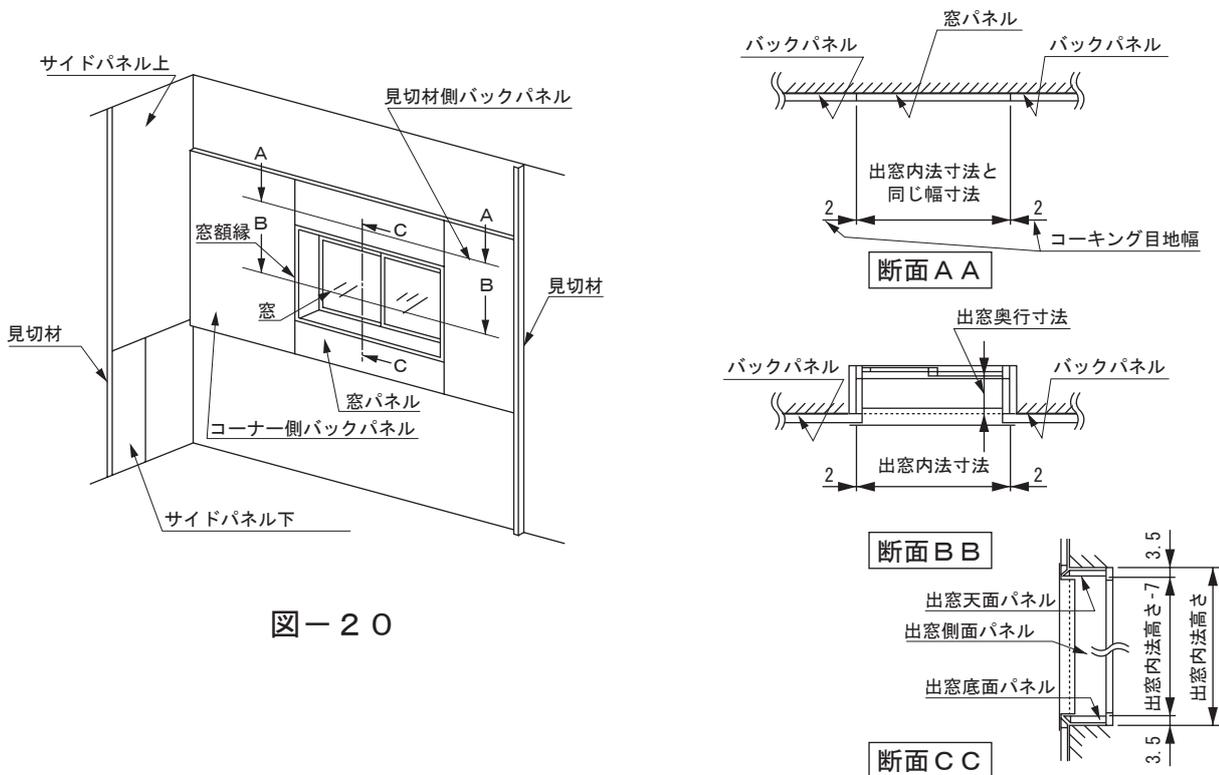


図-20

- ② 切断したパネルを基準線に当てて位置寸法を確認し、バックパネルと同様にして取付ネジ穴加工（9ページ図-11参照）を行い、パネル裏面と取付壁面の清掃をし、（下地壁の表面が濡れていると接着剤がつかないので十分に乾燥させてください。）パネル裏面に両面テープを貼り、接着剤を塗布してください。（10ページ図-12参照）

取付・設置手順（続き）

- ③ 図-21のように、出窓天面、床面のパネル材を先に貼り付け、両手で体重をかけて圧着させ固定した後、出窓両側面にパネル材を貼り付け、両手で体重をかけて圧着させ固定してください。貼り付け後は、図-22の様に養生してください。

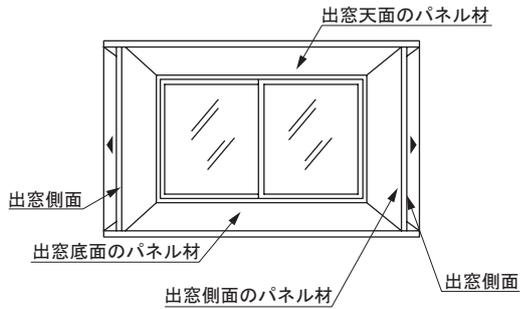


図-21

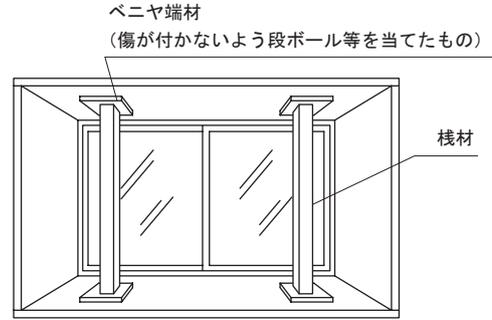


図-22

- ④ 出隅処理用ジョイナー（KJD-5）を図-23を参考にして切断してください。

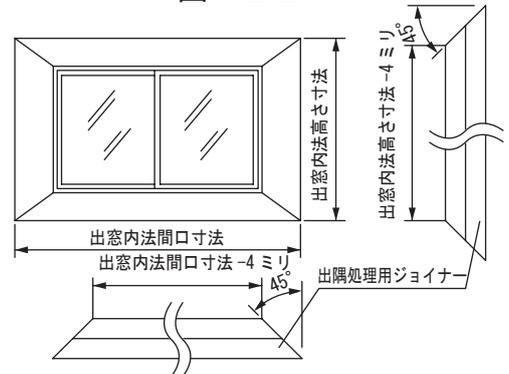


図-23

- ⑤ 出隅処理用ジョイナー（KJD-6（W））裏面の離型紙をはがし、図-24のように出窓部の各パネルに差し込みながら壁面に貼り付け、前面より指で十分に圧着させ、図-24 斜線部にキリ（φ2程度）でピッチ200mm程度に穴をあけて、市販品の釘（φ1.6mm程度）で止めてください。釘の頭は、見切り材に密着するように打ち込んでください。

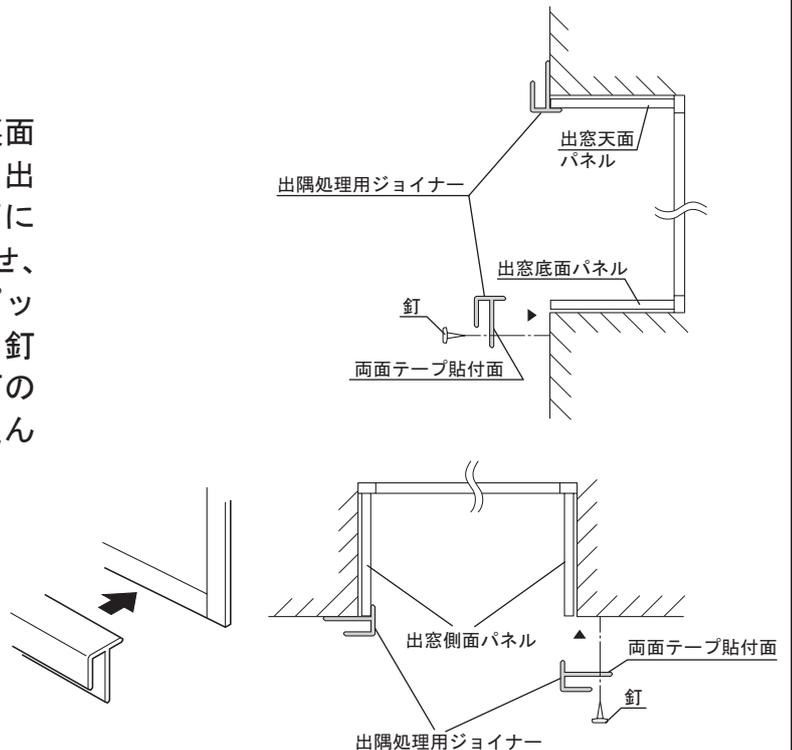


図-24

取付・設置手順（続き）

⑥ 図-25のように、コーナー側バックパネルを先に出隅処理用ジョイナーに差し込むようにして、基準線に合わせて貼り付け両手で体重をかけて圧着させ、取付部材（KKB-7（8））付属の取付ネジ（サラタッピンネジφ3.5×35）で固定してください。

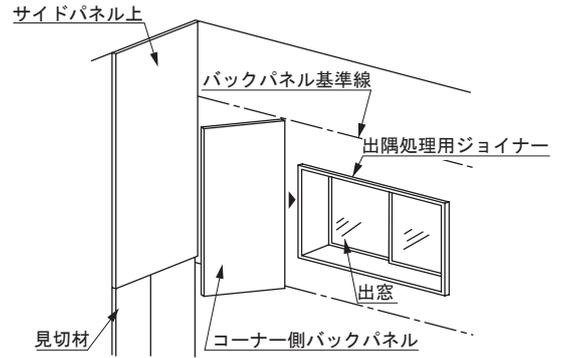


図-25

⑦ 窓の上下に図-26のように、窓パネルを出隅処理用ジョイナーに差し込むようにして、基準線に合わせて貼り付け両手で体重をかけて圧着させ、取付部材（KKB-7（8））付属の取付ネジ（サラタッピンネジφ3.5×35）で固定してください。

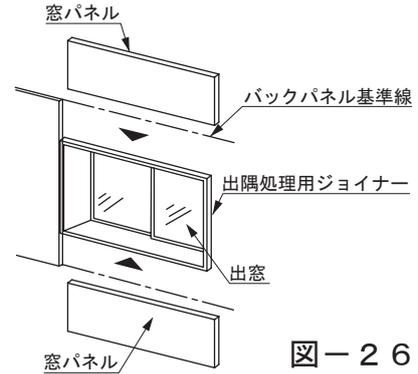


図-26

⑧ 図-27のように、見切り材側バックパネルを出隅処理用ジョイナーに差し込むようにして、基準線に合わせて貼り付け両手で体重をかけて圧着させ、取付部材（KKB-7（8））付属の取付ネジ（サラタッピンネジφ3.5×35）で固定してください。

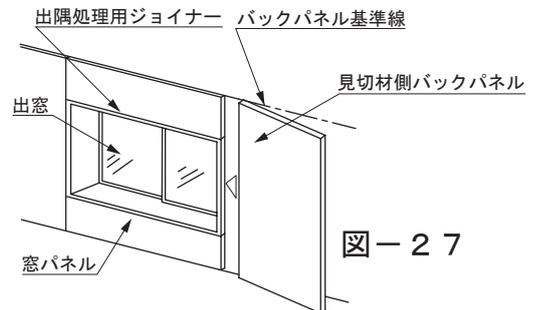


図-27

⑨ 見切り材（KJK-6（W））の裏面の離型紙をはがし、図-28のように見切り材を見切り材側バックパネルに差し込むようにして、見切り材取付基準線に合わせて、壁面に貼り付け、前面より指で十分に圧着させ、図-29の斜線部にキリ（φ2程度）でピッチ100mm程度に穴をあけて、市販品の釘（φ1.6mm程度）で止めてください。釘の頭は見切り材に密着するよう打ち込んでください。

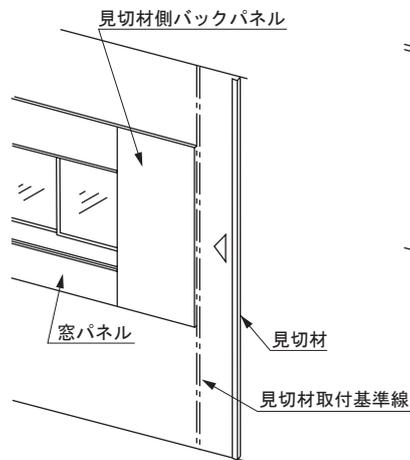


図-28

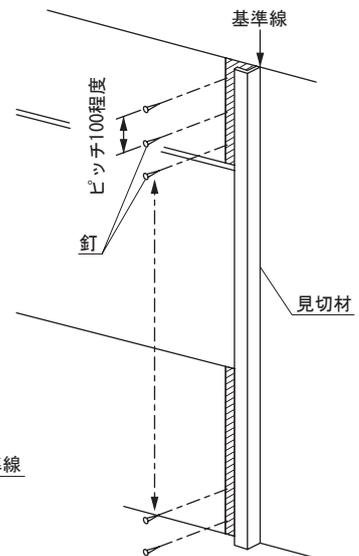


図-29

取付・設置手順（続き）

4. キッチン本体およびレンジフードの取付

キッチン本体の取付は、キッチン付属の取付・設置説明書に従って行ってください。レンジフードの取付も、レンジフード付属の取付・設置説明書に従って行ってください。

※ 吊戸棚については取付部材（KKB-5）に同梱されているスペーサー（t2.5mm MDF）を取付位置に合わせて図-30のように壁面に固定してください。

※ トールユニット、カウンターユニット、サイドパネル、パーテーションについても、取付部材（KKB-5）同梱のスペーサー（t2.5mm MDF）を壁面に固定し、キャビネット前面を合わせてください。

※ レンジフードについては、キッチンパネル（t3mm）の端材をスペーサーとして使用してください。ただし、ステンレス製コンロ裏パネルを取付けている場合は、ステンレス製コンロ裏パネルに付属の不燃板スペーサー（t6mm・幅40mm・2本）を使用してください。

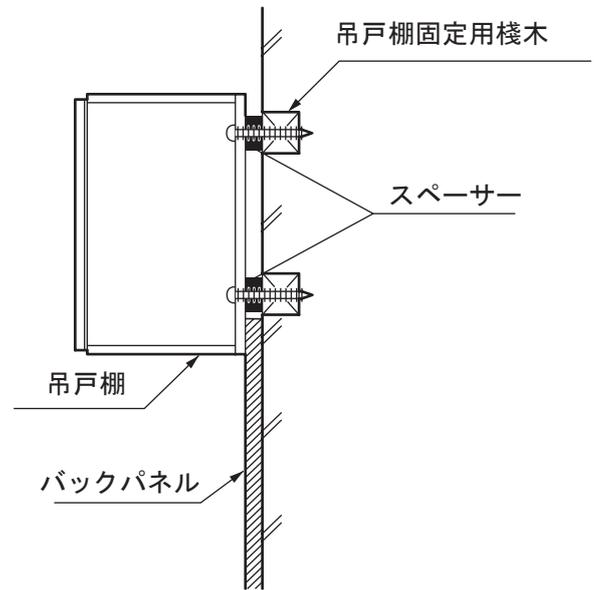


図-30

5. コーキング

図-31の太線部分にマスキングテープ（市販品）を貼り、製品の養生フィルムをはがしてコーキング処理を行ってください。

窓がある場合は、窓枠の周囲を全周コーキング処理し、十分に養生した後マスキングテープをはがして下さい。

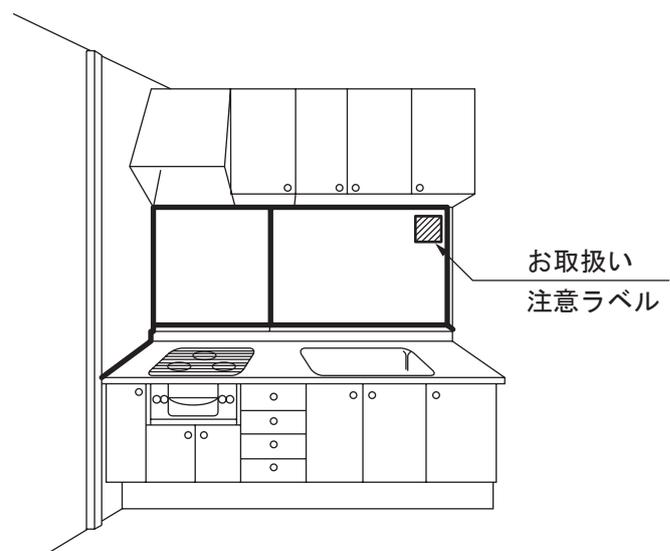


図-31

仕上げ

●清掃

- (1) ちょっとした汚れは、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- (2) 汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて、軽く拭いた後、水拭きしてください。
水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭きとってください。

●取付部材に同梱してあるお取扱い注意ラベルを図-37の位置に貼り付けて下さい。

注 意

シンナー・ベンジンなどの溶剤で拭かない。
変色・変質するおそれがあります。



点検

●安全点検

- (1) 取付・設置完了後、必ず各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

完了後の処置

●商品の養生について

- (1) 製品はお引渡しまでの間、傷や汚れが付かない様、おおいをしてください。

●取扱説明書の保管・引渡し方法

- (1) 製品の取扱説明書は、とりまとめて指定場所に収納（保管）し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

残材処理

●梱包材その他残材の処置

- (1) 不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。

株式会社ハウステック

群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダ電機本社11階内 〒370-0841 Tel. 027-395-0410 www.housetec.co.jp